

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	株式会社フジタ 九州支店
所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) 福岡市中央区舞鶴 3-9-39 福岡舞鶴スクエア 5 階
業種	建設業
電話番号	092-281-0665
ホームページ	—

Well-being 向上 に向けた取組み	ダイバーシティ推進部を設置し、多様な人材の活躍を推進。 短時間勤務・フレックス・在宅勤務制度や復職支援、保育支援を整備し、両立を支援している。 女性活躍の取組では「東京都女性活躍推進大賞（優秀賞）」を受賞するなど対外的にも評価されており、長時間労働の抑制や意識改革を通じ、誰もが能力を発揮できる職場環境づくりを推進している。		
アンケート実施	☐	アンケートの社内共有	☐

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名: 株式会社フジタ九州支店

カ テ ゴ リ	チェック項目	3側面該当			具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs																
		環 境	社 会	経 済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人 権 ・ 労 働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。		○	○	・2007年から業界に先駆けてダイバーシティ推進の取組をスタートした。ダイバーシティ推進部を設置し、女性・外国籍社員・障がい者等の多様な人材が活躍できる環境整備を推進し、公平な評価・登用を通じて組織活性化を図っている。						○		○		○							
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	・2017年度から在宅勤務制度を運用開始、現在はテレワークやフレックス制度に加え、建設DX推進により業務効率化と長時間労働削減を実施。 ・育児期間前後のキャリア形成について外部講師によるセミナーを開催。 ・2019年度から毎年介護ニーズに関する社内調査を実施。調査結果を基に職場環境整備を図っている。							○			○							
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・2019年4月にハラスメント防止規程を策定し、セクシャルハラスメント、パワーハラスメントおよび妊娠・出産・育児休業・介護休職などに関するハラスメントの防止措置を制定。このほか人権啓発eラーニングや定期的な社内研修を実施し、人権意識向上とハラスメントの未然防止を図っている。							○			○						○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	健康経営を推進し、2021年に健康増進センターを設置、2022年に作業所DX推進部を新設。健康診断・二次検診の受診推進や、メンタルヘルス対策や長時間労働は正により健康と生産性向上を図っている。				○		○		○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	・社内に「研修センター」を設置し、従業員に対する各種研修を実施。研修制度には、階層別研修や基礎技術と専門知識を学ぶ「フジタ建設大学」に加え、技術伝承を集中的に行う「圧倒的教育」などがある。人材育成に関する研修実績(2024年度)は延べ受講者数:6,932人 延べ研修時間:85,732時間である。																	
環 境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	建設廃棄物等適正処理要領を規定・運用し、建設副産物管理システムにより排出量管理と処理適正化を推進。削減・リサイクルを進め、2024年度は建設廃棄物のリサイクル率99.7%を達成している。			○			○					○	○		○			
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○	○	○	温室効果ガス削減のため再生可能エネルギーの利用を推進。CO2管理システム「TansoMiru」による排出量の可視化・管理と、低炭素燃料・電動化・省燃費重機導入により、施工から建物までバリューチェーン全体で排出削減を推進している。							○					○	○				
環 境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○	○	○	経団連「生物多様性宣言」に賛同し、方針に基づき在来種植栽の推進や生物多様性リスク評価を実施。設計・施工段階での影響低減を図るとともに、ネイチャーポジティブ実現に向けた自主基準管理により持続可能なまちづくりに貢献している。							○					○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・水使用量の管理と削減に加え、サプライチェーンにおける水リスク調査を実施し、2024年度は実施率100%を達成(主要サプライヤー25社を対象)。持続可能な水資源利用とリスク管理の強化を推進している。								○									
製 品 ・ サ ー ビ ス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。	○	○	○	・2022年度より「品質監理部」を新設。建築・土木の施工・工事監理に対して独立した立場で品質監査を実施し、品質の担保並びに全店の品質管理業務を統括している。「施工品質評価基準」を設けてすべての工事作業所に適用、社員の実務経験年数に関らない一定水準での品質検査を行っている。				○									○				
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・建設業として地域社会とのコミュニケーションや自然環境への配慮、「築育」活動などに積極的に取り組んでいる。 ※「築育」とは次代を担う子供たちや若者、地域住民の方々にものづくりの楽しさ、街づくりの大切さ、自然環境への配慮などを伝え、広めていく活動のこと。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公 正 な 事 業 慣 行 ・ 組 織 体 制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。		○		・情報セキュリティ委員会を設置し、情報管理規定ならびに個人情報保護規定を策定。定期的な情報セキュリティ教育を実施し、情報リスクに関する管理体制の確立に努めている。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。		○		・外部講師による社員教育や、階層別教育でのコンプライアンス研修、eラーニングによるコンプライアンス教育を継続実施。毎月リスク管理委員会を開催し、リスク情報の水平展開を図り、コンプライアンス・リスク管理体制の強化に努めている。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。		○		・「経営理念」等を明文化し、掲示等、従業員が常に確認できるようにしている。 ・「経営目標」を全従業員が確認できるよう社内イントラに掲載し、社長訓示についても全社員向けにWeb放映し、イントラへ掲載し共有している。										○	○					○	
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・すべての災害に対応すべく「フジタ防災基本計画」を制定し、有事に速やかに災害対策本部が設置される体制を整備、毎年BCP訓練を実施している。 ・関東地方整備局および近畿地方整備局において「建設会社における災害時の事業継続力認定」を受けている。											○		○				○